

全十勝加盟団体対抗ソフトテニス大会へ参加

十勝管内の中学・高校・一般の選手が出場する団体戦形式の大会へ参加しました。女子は 20 チームが参加し、本校からは A、B の 2 チームが出場しました。先月行われた新人戦（団体戦）の結果に甘んじることなく、緊張感を持ち試合に臨み、その結果、両チームともに善戦し、A チームが準優勝、B チームも決勝トーナメントへと勝ち上がりました。

チーム全員が一丸となり、最後まで気持ちを落とすことなく戦い続けることができました。実際にどのペアも、相手にゲームを先行されていても粘り強く攻め続けファイナルゲームまで追いつく意地を見せたり、逆にリードしている試合途中で相手に追いつかれてプレッシャーを感じてもそれに打ち勝つ力強さを見せたりと、全員がいいゲームをできたと感じています。前回結果を残せたことが自信につながったことでもありますし、何よりも保護者・関係者の皆様、サポートの選手がコロナ禍の影響で応援の仕方も制限されている中でも、チーム南商として熱い思いを選手に送り続けてくださったのが大きいと思います。

OG・対戦相手の多くの方々も、対戦後に選手にアドバイスをくださるなど、多くの方々に多方面からチームを支えていただいておりますことに、この場を借りて感謝申し上げます。

外のコートでの公式試合はこの大会で最後となりますが、インドア、来季へ向けて気持ちを緩めず練習に励んでいきますので、応援よろしく願いいたします。



試合結果の詳細は、帯広ソフトテニス連盟 HP をご覧ください。

新人戦の団体戦にて優勝

5年ぶりにタイトルを獲得することが出来ました。昨年のあの悔しさを忘れずに、引退まで頑張ってくれた現3年生、そしてあのコートに立ち、あるいは応援の立場から、リベンジを果たそうと頑張ってきた現2年生、そして高校生として初めて、団体戦を経験した現1年生の頑張りを思うと、心から嬉しい報告です。

予選リーグ(4校ブロック)を2勝1敗の2位で抜け、決勝トーナメント1回戦は、決勝戦進出と、全道出場権獲得を掛けた準決勝でした。3番勝負のファイナル4-6の時点で、去年と同じネガティブなシナリオを頭に思い浮かべたのは、ベンチにいた私だけで、部員達は全員が一体となり、勝利を収めました。決勝戦は、すべての思いを託された2ペアの頑張りと、気持ちのこもった応援で、優勝が出来ました。

多くの保護者の方々の応援はもちろん、機会があるたびに声かけや、アドバイスを頂いてきたOGの方々、チームに関係するすべての方々に、厚くお礼申し上げます。

しかし、あくまでも、これは「通過点」です。これからは、追われる立場になりますが、Defending Championとしての自覚の元、頑張っていきますので、引き続きの応援よろしくお願い致します。



高体連十勝支部ソフトテニス新人戦を終えて

ダブルス2ペア（佐藤・渡ペア、松嶋・中村ペア）が、それぞれが5位で全道大会の出場権を獲得しました。チームとしては、タイトル奪取を出来なかった、あと一步で入賞を逃した、自分達らしさをコートで表しきることが出来なかったペアたちの悔しさや、最低限のラインをクリアできた安堵感、そして初めて全道大会出場権獲得のペアなど、悲喜交々でした。

一方のシングルスでは、2名（佐藤心音、北嶋妃夏）が3位入賞を果たしました。全道でのさらなる活躍が期待されるところです。

さて、全道新人戦が終われば、すぐに団体予選が行われます。今年の悔しさ、無念さを晴らすべく、チームとして再スタートを始めました。「チーム南商'20」として、最大限の力を発揮させますので、引き続き応援よろしくお願い致します。

新人戦支部予選会の詳しい戦績は、帯広ソフトテニス連盟のHPをご覧ください。



女子 D5 位の 2 ペア



女子 S3 位の 2 名



短くても充実した夏休みでした

コロナ禍により、例年よりも短い夏休みでしたが、計画的かつ積極的に練習(試合)に取り組むことが出来ました。

秋の新人戦(個人戦・団体戦)に照準を合わせ、引き続きコロナウイルス感染症拡大防止に努めながら、タイトル奪取します。引き続き応援よろしくお願い致します。

～夏休み中の取り組み紹介～

<校内シングルス戦>

8名の出場権を決定するための校内戦(予選リーグ・順位決定リーグ)を実施。選りすぐられた選手達の支部予選会、全道大会での活躍に期待して下さい。

<練習試合>

日程の都合から、帯広三条高校のみと練習試合をさせて頂きました。各ペア3～4試合行うことが出来ました。ありがとうございました。

これからも、管内外問わず、練習試合の申し入れをしていきたいと思えます。もちろん、ご来校頂ける場合も大歓迎です！ よろしくお願い致します。

<合同練習+特別講習会>

チームタケシマの方々にお越し頂きました。当日は2部練でしたが、総勢7名ものの方々にご協力頂きました。また、生徒達も精力的に取り組む、有意義なものになりました。ありがとうございました！



タケシマのTではなく、
テニスのTです。



<講習会>

Yonex の桂氏、榊原氏による講習会に参加させて頂きました。ストローク・ボレー・サービスなど、基本的な部分の再確認をさせて頂きました。女子代表挨拶は、本校の佐藤が務めました。



<帯広研修大会>

2日間にわたる団体戦形式による研修大会でした。今年は13校23チームの参加があり、南商は3チームで臨みました。管内はもとより、旭川や北見地区の強豪校との対戦も組み込まれ、数多くの対戦や研修を重ねることが出来ました。真夏の2日間を乗り切った選手達には、充実感が窺えました。

新チームで臨んだ大会を終えて…

全十勝高校大会(7/4)、全十勝夏季選手権大会(7/26)の2大会を終えて、大会結果よりも、個人・ペア・チームとして、これから克服すべき課題を見出すことが出来たのが大きな収穫でした。

コロナ禍により、例年よりも短い夏休みとなりますが、計画的かつ積極的に練習(試合)に取り組み、新人戦(個人戦)に照準を合わせていきます。引き続き、応援よろしくお願い致します。

<全十勝高等学校ソフトテニス大会>

佐藤・渡ペア：ベスト8

<全十勝夏季ソフトテニス選手権大会>

北嶋・久保田ペア：第3位



吉田・松村ペア、佐藤・渡ペア：ベスト8

*結果の詳細については、帯広ソフトテニス連盟Hpをご覧ください。

*昨年度卒業生の宮川さんが、見事にタイトルを獲りました。

*卒業後も地元十勝で競技を続けてこられた、タケシマスポーツの山崎さんが、この大会で一線を退くことになりました。練習試合等で大変お世話になりました。これからもお幸せに!!

新チームが始動します

インターハイ・国体までもが中止となり、3年生は引退となりました

大会に臨むことなく、ラケットを置く（引退する）ことになった3年生を思うと、本当に残念で、むなしさしか残りません。

しかし、3名の3年生は、自分たちの務めを立派に果たし、自分たちの熱い思い、引き継がれてきた伝統を次の代に繋いでくれました。本当にお疲れさまでした。

そして、新チーム（17名）が始動しました。高体連新人戦支部予選でのタイトル奪取を目指し、日々の取り組みを重ねていきます。引き続き、応援よろしくお願ひ致します。



新型コロナウイルス感染拡大防止のため

全道インドア大会、ハイジャパ北北海道予選会、全十勝高校春季大会

中止になりました

インドア支部予選会でベスト8に入賞し、全道大会出場の権利を得た3ペア
ハイジャパ北北海道予選会への上場権を与えられた2ペアにとって、悔しくも残念な
判断が下りました。

また、春季大会についても、やむを得ず中止の判断がされました。例年であれば、
年度初めのアウトドアでの大会を経て、高体連に向けてのスタートを切る時ですが、
今は、新型コロナウイルスに感染しないよう、予防をしっかりと、集約大会・全道
大会上場に向けて、ひたすら準備をしていくだけです。